

# 普及センターだより

〒769-1503 香川県三豊市豊中町笠田竹田438-1  
 TEL. 0875-62-3075 FAX. 0875-62-5353  
 E-mail. seisannokai@pref.kagawa.lg.jp  
 URL <http://www.pref.kagawa.jp/seisannokai/index.htm>

発行日  
2019.8.1  
第160号

## 西讃地域の多様な担い手紹介シリーズ⑯

～集落営農組織紹介～

若者世代に引き継げる集落営農組織を目指して



観音寺市柞田町上出地区は、戦前の観音寺柞田飛行場跡地で、区画整理されたほ場が広がっています。しかし近年、農業者の減少と高齢化に伴い、地区の農地や農業の将来を不安視する声があがり始めていました。

ちょうどその頃、懇意にしている集落営農法人の方から集落営農の勧めがあり、普及センターに相談に訪れ、集落営農組織の設立に向けた取組みが始まりました。その後、有志による勉強会や検討会、先進地研修、集落内の農家や地権者に対する説明会などを重ね、平成31年1月29日に集落営農組織「穂の里営農組合（組合員10名）」を設立しました。

当組合は、会社勤めの御子息やその友人など20代～30代の若者も構成員になっており、組合名の『穂の里』は、「稻麦の穂であふれる地域にしたい」という若者世代の想いを込めて命名されました。営農活動は、本年4月の水稻育苗から開始しており、稻作のほか、以前、当地区でも行われていた麦作や、畜産農家の堆肥と稻わらを交換する耕畜連携にも取り組む予定です。

「若者世代は、地域の仲間とも協力しながら活動していきたいと考えている。将来にわたり地域の農地や農業を守れるよう法人化するとともに、農家、非農家を問わず誰でも参加できるような組織に育てあげ、若者に引き継ぐのが我々の使命。」と秋山組合長は抱負を語ってくださいました。

<写真：協力者の方と地区的ポンプ小屋にて>

# 人・農地プランの充実に向けた取組みが強化されます

## ～「実質化された人・農地プラン」を目指して～

### 人・農地プランとは

地域の農業者の方などの話し合いに基づき、認定農業者等の担い手に農地を集積・集約することなどにより、持続可能な力強い農業構造を実現するための「地域の未来設計図」です。

農地中間管理事業の推進に関する法律の制定（平成25年）に伴い、人・農地プランの取組みが開始されました。これまで当プランに基づき、担い手の農地利用面積は上昇してきましたが、今後、より加速化させるために、人・農地プランの取組みが、下図のとおり強化されることになりました。

### 今後の人・農地プラン作成の基本的な進め方

農地中間管理機構（農地バンク）と関係者が一体となり推進する体制をつくり、以下の取組みを一體的に推進します。

- ① 地域の農業者の年代分布や後継者の有無といった地域の状況がわかるようにアンケートを実施し、地域の状況を地図化します。
  - ② 地域の様々な機会を活用し、5～10年先の将来の農地の担い手について話し合います。
  - ③ 話し合いの結果、地域の現況と将来の課題を農業者の方と関係者が共有し、担い手への農地の集約化に関する将来方針を作成します。（作成後は市が「人・農地プラン」として公表）
- ※ このような取組みにより作成されたプランが「実質化された人・農地プラン」となります。



国においては、農業制度資金の金利負担軽減措置や各種助成金の交付は「実質化された人・農地プラン」が作成されている地域に限定されることが考えられています。

# ICTを取り入れた先端技術でイチゴ栽培を! ~環境・作業データの「見える化」~

## 注目されるスマート農業

今、農業分野では、ロボット技術やICT(情報通信技術)、人工知能(AI)等の先端技術を活用し、省力化・精密化や生産物の品質向上を可能にする次世代型の農業「スマート農業」が登場し、注目を集めています。こうした取組みは、身近な技術として利用されようとしています。

## ICTを活用したイチゴ栽培

イチゴで、「香川型高設栽培(らくちん)システム」を改良して、平成29年度から、環境(温度、CO<sub>2</sub>など)・作業データを、スマートフォンやタブレット端末で閲覧できる新システムの実証試験を行った結果、過去2年間の実証では、導入後の収量が1.2倍へ増加するなど一定の成果がみらました。今後、指導機関や生産者グループ間で、情報の共有により、産地全体の技術として収量・品質の向上が期待されます。



図 ICT活用による「見える化」のイメージ

## アスパラガス「さぬきのめざめ」の生産をしてみませんか!



### 「さぬきのめざめ」の特性

- ①萌芽が早いので、単価の高い時期に出荷できます。
- ②穂先の開きが遅いので、収穫遅れによるロスが少なく、ロングアスパラとしても出荷できます。
- ③基部まで柔らかいので食べやすく、食味は良好です。

西讃普及センター管内の「さぬきのめざめ」の栽培面積は、少しずつですが年々増加傾向です。

TV等でも取り上げられることが多く、消費者から名指しで求められる場合も増えており、「さぬきのめざめ」と品種名を表示した販売が必要になっています。

そこで、みなさんも「さぬきのめざめ」を作ってみませんか。

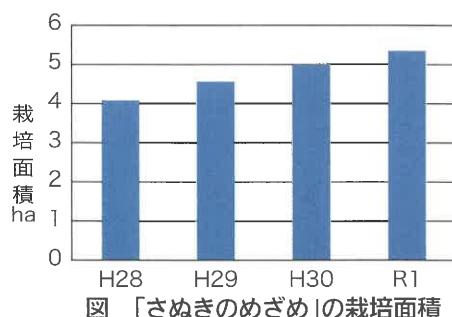


図 「さぬきのめざめ」の栽培面積

★アスパラガスの栽培に興味のある人、アスパラガスの話を聞いてみたい方等を対象に、「本気で作れば儲かる!アスパラガスは面白い」と題して推進大会を開催します。

日時：令和元年8月28日(水) 13:30～

場所：西讃農業改良普及センター 2階会議室 お気軽にご参加ください。



## 新たな「香川県農業士」「香川県青年農業士」をご紹介します

5月22日、県庁において香川県農業士・青年農業士の認定式が開催され、西讃地区で新たに9名の方が認定されました。今後、地域の農業振興のリーダーとして、御活躍されることを期待しています。

### 「香川県農業士」に認定された7名の方

観音寺市新田町	高橋 昌也 様 (露地野菜)
観音寺市大野原町	近藤 芳臣 様 (露地野菜)
観音寺市豊浜町	浦 達生 様 (露地野菜)
三豊市高瀬町	三谷 將支 様 (露地野菜)
三豊市高瀬町	宮崎 和代 様 (果 樹)
三豊市豊中町	関 遂男 様 (米 麦)
三豊市財田町	矢野志保美 様 (果 樹)

### 「青年農業士」に認定された2名の方

観音寺市豊浜町	高橋 健太 様 (露地野菜)
三豊市高瀬町	細川 貴司 様 (露地野菜)

西讃地区農業士会の  
令和元年度通常総会を開催しました！

西讃地区農業士会（臼杵英樹会長）は、担い手育成のため新規就農者等へ積極的な支援を行うほか、関係機関等との一層の連携強化を図り、地域農業の活性化に向けた活動に取り組みます。



令和元年度通常総会（5月10日、観音寺市内）

## 「平成30年度西讃農業改良普及協議会表彰」受賞おめでとうございます

5月31日に西讃農業改良普及協議会の表彰式が当普及センターで行われ、白川晴司会長（観音寺市長）から地域の農業振興に貢献された方々に表彰状が手渡されました。



受賞者：4名

○前列中央 左より

- 豊田 敏計 様 (観音寺市新田町)
- 川上 泰則 様 (観音寺市豊浜町)
- 横田 尚和 様 (三豊市豊中町)
- 塩田 清勝 様 (三豊市三野町)

※受賞された方々の今後ますます  
の御活躍を祈念いたします。